

医療・福祉

薬だつ知識

88

鹿児島市薬剤師会では毎年、「集まれ！未来の薬剤師」をテーマにしたイベントを開催しています。「調剤体験」「お薬ミニ講座」「お薬相談」「大学薬学部紹介」など、親子で楽しく学べる内容で、毎回好評をいただいています。

2024年度は昨年11月17日に鹿児島ふれあいスポーツランドであり、約300人の「未来の薬剤師」が参加してくれました。調剤体験コーナーではお菓子やジュースを薬に見立てて、薬剤師の仕事をします。服用のタイミングが同じ薬を1袋にまとめる「包

将来の人材育成に期待

「未来の薬剤師」事業



「集まれ！未来の薬剤師」イベントで、真剣な表情で調剤に挑戦する子ども

化」作業のほか、錠剤を粉砕したり、水薬を量ったり混ぜたりしました。「やってみる」は、とても貴重な

経験だと思えます。未来の薬剤師たちは真剣な表情で「ヨロコブムネ、ジュースで調剤を行いました」。その様子を見守る薬剤師たちの姿も印象的でした。子どもたちが将来、医療の現場で活躍してくれる姿を思い描いていたのかもかもしれません。

鹿児島県は薬剤師不足という悩みを抱えています。そのほか、都市部に集中する一方で、県内でも地域偏在が見られます。県内に薬科大学がないことも、理由の一つに挙げられます。今後、県内で薬剤師を確保していくためにはどうすればいいのか。現在、鹿児島で働いている薬剤師たちが取り組んでいくべき課題だと考えています。

薬剤師会のイベントは鹿児島市以外でも各地で開催されます。体験した子どもたちの中から、故郷の将来を担う多くの人材が生まれることを期待しています。

(鹿児島市薬剤師会常務理事、県薬剤師会学術研修委員・築地辰典)

令和7年3月4日(火)

88 . 未来の薬剤師事業